

# NIE実践研究会新聞

## 総会編

第2号  
京都市立  
小栗栖富山小学校  
教頭 内野英教

# 令和6年NIE全国大会 京都大会にむけて

魅力のある発信を目指して！  
NIE実践研究会が始動しました。



羽東師小学校の久林教諭が議長に推薦され、総会を進めました。  
写真中央：西村教諭 右奥：久林教諭 右手前：藤田会長  
6月16日(金) 羽東師小学校多目的室にて

令和五年六月十六日午後六時よりNIE実践研究会総会が、京都市立羽東師小学校で行われた。はじめに、令和五年度NIE実践研究会会長 藤田香揚子校長より、あいさつや今年度の組織体制が紹介された。その後、一、研究テーマ「主体的に新聞とかかわり、新聞と対話することで、学びを深める子どもの育成」二、活動目標「令和六年度全国大会開催に向けての組織力・実践力の構築」この二つの目標達成を見据え、今年度の活動方針を研究部長の西村先生と事業部長の古田先生より伝えられた。また、各部署の部長から、今後の取組についての話があった。今年度も、「道徳科・特別活動研究部」「社会科・生活科・総合的な学習の時間研究部」「国語科・外国語科研究部」に分かれて、研究を深めていく。研究部長の西村先生からは、「一人一人が指導案集やワークシート集の原稿を作れるように、研究会として取組を進めていきましょう。」と力強い言葉があった。

「朝休み時間に子どもたちが新聞を読んでいる姿を見かけるようになった。無理なく日頃からできることを少しずつ。子どもたちが楽しめるように、自分も楽しめたいと思う。」他の先生の良い取組をどんどんまねて、まずは、先生が新聞を読んでみてください。そして、新たな取組があればぜひ共有していきましょう。」と今後の研究会活動への熱い思いで会を締めくくった。

「朝休み時間に子どもたちが新聞を読んでいる姿を見かけるようになった。無理なく日頃からできることを少しずつ。子どもたちが楽しめるように、自分も楽しめたいと思う。」他の先生の良い取組をどんどんまねて、まずは、先生が新聞を読んでみてください。そして、新たな取組があればぜひ共有していきましょう。」と今後の研究会活動への熱い思いで会を締めくくった。

日頃からできることを少しずつ

教師が楽しめば、子どもも楽しめる



**表現力** ↔ **活用力**

自分の対話文章に書き表す友達と交流

今までの学習で学んだこと・使えそうなこと

○新聞を読み取ることで力をつける⇒読み取る力  
○子ども達で話したくなる話題⇒対話力・表現力  
○新聞から自分たちの学びにつなげる⇒活用力

**あ、漫画が載ってる！**

これこそが学びにおいて大切な流れ！  
そんな出会いを新聞から繋げたいな...

**読み解く力**

でもこれってどういう意味かな？

2年生の取組(朝の時間活用)

**子ども新聞の活用**

朝の会で新聞記事を読み聞かせた

SDGsと関連する記事を線で結んだ

総会後に事業部長の古田先生より、いくつかの実践が紹介された。日頃から新聞を生かした様々な取組を行っていることが伺えたが、特に印象に残った言葉を以下に紹介する。

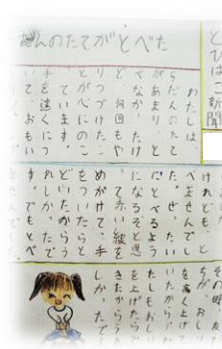
「朝休み時間に子どもたちが新聞を読んでいる姿を見かけるようになった。無理なく日頃からできることを少しずつ。子どもたちが楽しめるように、自分も楽しめたいと思う。」他の先生の良い取組をどんどんまねて、まずは、先生が新聞を読んでみてください。そして、新たな取組があればぜひ共有していきましょう。」と今後の研究会活動への熱い思いで会を締めくくった。

**教育に新聞を**  
Newspaper in Education

**NIE**

### 実践紹介 「はがき新聞」

総会後の実践紹介では、国語科部長の藤原先生が、はがき新聞の取組について紹介した。「はがき新聞コンクールに行ったときに一年生がすごく素敵な作品を仕上げていた。それなら二年生でもできると思い、自分のクラスでもやってみた。」子どもの表現力を伸ばすうえで、はがき新聞はとても有効であるようだ。



おわりに  
京都市立久我の杜小学校校長  
出口章 副会長

「新聞はいろいろな段階を踏んで精査されて、精度の高い記事が集まったもの。それを、子どもの教育に取り入れることは大変有意義であるので、新聞を生かした授業研究をみなさんで進めていきたいと思えます。」